

「くすりの語り部」を育成 「薬祖」を擁する富山市の産業振興とシビックプライド(*1)を醸成するユニーク事業

(一社)日本置き薬協会

「富山県と同じく、医薬品生産が盛んな埼玉県や静岡県に薬祖(*2)として敬われている人がいるか？ 同様に配置売薬から発展した滋賀県や奈良県に起源にまつわる豊かな伝説があるか？ というとそうではない。富山だけに薬祖たちが活躍する豊かな伝説がある。薬祖ゆかりの地を巡ることで薬都の歴史を感じて欲しい」と話すのは、富山市郷土博物館館長の坂森幹浩氏。富山市商工労働部薬業物産課が開催した令和3年度第4回「くすりの語り部」実践講座1. まちなかくすりツアーの2. 中心市街地編の講義の中で。講義は3月12日午後2時から、富山市内のくすりに関するまち歩きとして実施され、受講生はくすりの語り部のレベルアップを図った。当日の見学先とその内容は以下の通り

1. ㈱廣貫堂本社敷地内の廣貫堂資料館

医薬の神様「神農」等について

2. ㈱廣貫堂本社北側にある共立富山薬学校（明治27年開校）の記念碑

富山薬学発祥の地 明治43年に県立薬業学校、大正9年官立薬学専門学校へ

3. 大法寺 富山藩第二代藩主前田正甫公菩提寺

4. 妙国寺 反魂丹の製法を富山に伝授した万代常閑翁菩提寺

5. 極楽寺 下榭（扇型丸薬製造器）発明で丸薬製造の大恩人とされる和算学者中田高寛石碑

6. 光厳寺 富山藩初代藩主前田利次公菩提寺

7. 池田屋安兵衛商店 丸薬づくり体験

本事業は、くすりの富山の歴史と現在を語り継ぎ未来の語り部を産み出したいとして、くすりのまち富山について観光客に分かりやすく案内する人材を養成し薬都とやまのイメージアップを図ろうというもの。令和元年度からの取り組みで、令和4年度もくすりの語り部養成講座の受講者募集が開始された。募集人員は20名程度で、富山の薬に興味があり、講座受講後、本事業実行委員会認定の「くすりの語り部」として市内での活動が出来る事が参加資格。

講座は6月から3月までの下記の下記の10回が富山市役所など市内で実施される。

1. くすりの語り部について、くすりのまち富山の概要

2. 富山売薬について1

3. 富山売薬について2

4. くすりの富山と産業

5. 全国各地と富山のくすりの関係

6. 医薬品産業について

7. くすりについて

8. 「薬膳」、「富山やくぜん」について

9. くすり関連施設での実習

10. まとめ、くすりの語り部について

(薬日新聞 令和4年4月17日号の一部を転載しました)

(*1) まちへの誇り、愛着、共感をもち、まちのために自ら関わっていかこうとする気持ちの意

(*2) 薬祖 ここでは現在の薬業に繋がる人物、事跡として捉えられている。ちなみに「薬祖神」(やくそじん)は、古事記、日本書紀等において日本に医薬を広めたとされる神。大己貴神(おおなむちのかみ)、少彦名神(すくなびこのかみ)、及びチャイナの信仰(道教、儒教)由来の神として神農(しんのう)が祀られることがある。(ウィキペディア「薬祖神」より転載)

薬祖神を祀る主な神社 五條天神社(京都市下京区と上野公園内)、薬祖神社(堺市)、少彦名神社(道修町)、福德の森薬祖神社(日本橋室町)、生根(イネ)神社(大阪市住吉区)